

議会だより



なかさつない

6月定例会

各種委員会の委員、条例改正、工事請負契約の締結など P 2 ~ 3

一般質問 P 4 ~ 9

補正予算 P 10 ~ 11

第2回臨時会 P 11

議員研修、広報モニター任命式、編集後記など ... P 12

～まちなかキッチンスタジオ（仮称） 建設工事はじまる～

中札内村議会6月定例会は、6月6日に招集され、会期を13日までの8日間とし行われました。6日には、報告2件、諮問1件、議案27件を審議し、原案どおり可決しました。

再開した13日には、請願2件及び陳情1件を採択し、追加提案された議案1件を審議し、原案どおり可決しました。

その後、5人の議員が一般質問を行いました。

6月6日

報 告

●繰越明許費繰越計算書

令和4年度に一般会計補正予算で繰越明許費の設定を行った各事業について、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告するもの。

●繰越明許費繰越計算書

令和4年度に公共下水道事業会計補正予算で繰越明許費の設定を行った各事業について、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告するもの。

諮 問

●人権擁護委員

大和田 彰子氏（再任）
適任者とすることに決定しました。

（任期 3年）

各種委員会の委員

●農業委員会委員

現委員が、7月19日をもって任期満了となることから、村内全域からの推薦及び団体等からの推薦があった委員13名の任命に同意しました。

山	水	水	濱	八	埤	鈴	柴	佐	加	大	内	出
口	崎	崎	野	田	田	木	田	藤	茂	島	田	羽
公	保	勝	裕	富	隆	聖	稔	充	円	克	正	義
雄	好	秀	二	雄	志	子	博	孝	裕	仁	樹	幸
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏

（任期 3年）

●固定資産評価審査委員会委員

佐藤 芳夫氏（再任）
現職委員のうち、同氏が8月9日をもって任期満了となることから、同氏の選任に同意しました。

（任期 3年）

条例改正

●中札内村民健康保険税条例

本年2月1日付で公布、4月1日から施行された国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、現行条例の内容を調整する必要があることから、本村条例の一部を改正するもの。

辺地計画変更

●元更別辺地に係る公共的施設の 総合整備計画の変更について

札内川園地給水施設整備事業の財源として辺地債を充当するため、辺地総合整備計画を変更しようとするもので、北海道知事との協議が整ったことから、議会の議決を得るもの。

これにより充当が見込まれる財源額は、2070万円である。

損害賠償額の決定

賠償額 59万円

令和5年3月10日に実施した南常盤東3線46号付近の保安林の枝打ち作業（十勝広域森林組合に委託）中に国営造成かんがい施設に損害を与えたもので、損害賠償の額を決定し和解しようとするもの。

財産の購入

●通学用自動車購入業務

807万円

スクールバス1台を更新するもので、釧路トヨタ自動車株式会社帯広支店と売買契約を締結しようとするもの。



更新予定のひばり号

令和5年6月定例会

工事請負契約の締結

●まちなかキッチンスタジオ建設

建築主体工事

1億6995万円

令和6年2月20日までの工期で、藤原工業株式会社と工事請負契約することを可決しました。

まちなかキッチンスタジオを建設するもの。

●まちなかキッチンスタジオ建設

電気設備工事

5742万円

令和6年2月20日までの工期で、川岸電設株式会社と工事請負契約することを可決しました。

まちなかキッチンスタジオ建設の電気設備工事を行うもの。

●まちなかキッチンスタジオ建設

機械設備工事

9834万円

令和6年2月20日までの工期で、株式会社昭和熱器工業と工事請負契約することを可決しました。

まちなかキッチンスタジオ建設の機械設備工事、厨房機器設置工事を行うもの。



まちなかキッチンスタジオ（仮称）イメージ図

●汚泥処理コントロールセンター

更新工事

1億3310万円

令和6年3月11日までの工期で、大昭電気工業株式会社と工事請負契約することを可決しました。

中札内浄化センターの電気・機械設備類を更新するもの。

6月13日

工事請負契約の締結

●西2線配水管更新工事

7370万円

令和5年12月11日までの工期で、株式会社昭和熱器工業と工事請負契約することを可決しました。

西2線配水管の一部布設替え（延長1.2km）を行うもの。

★宮部議員

問 1回目の入札において、全社が最低制限価格を下回り、入札不調となったとのことだが、積算の仕方について業者と業者で違いがあるのではないかと考えている。

答 村は北海道単価を用いて積算をしている。

ただ、北海道単価が示されていない物については見積もりにより積算しているため、その部分で差が出たのではないかと考えている。



●2024年度地方財政の充実・強化を求める

意見書の採択を求める請願

●2023年度北海道最低賃金改正等に関する

意見書の採択を求める請願

提出者 中札内村地区連合会 紹介議員 木村優子

★同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました



所得税法第56条及び関連条項の見直しを求める

意見書採択についての陳情

提出者 帯広民主商工会婦人部

★同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました

6月定例会の一般質問は5人の議員が登壇。
紙面の都合により、内容を要約して
お知らせします。

※詳しい内容はコチラ



村政のここを教えて !!

一般質問



木村 優子 議員
村の投票率向上への取組について

5



北嶋 信昭 議員
鹿による農作物への被害について

6



戸水 隆 議員
道の駅の労働環境対策について

7



宮部 修一 議員
村独自の物価高騰対策について

8



大和田 彰子 議員
「災害に強い村」を目指すための
防災体制について

9

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をたずねることです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。

木村議員

投票率向上のための方策を

選挙管理委員会

既存制度の理解と利用促進に努める

投票率低下傾向の現状と今後のまちづくりについての村長の見解は。

特に村長選挙や村議会議員選挙の投票率が下がり続けると選挙結果が民意を反映しているとは言いがたくなり、本村が目指す「協働のまちづくり」の推進が困難となる可能性があります。

4月に執行された北海道知事選挙、北海道議会議員選挙、中札内村議会議員選挙において、投票率はいずれも前回を下回り、本村の投票率は近年下落傾向となっています。



投票所に設置された投票記載台

本村で今何が起きているかを可視化するため、村としては紙媒体やSNS等あらゆるメディアを徹底的かつ効果的に活用した情報発信を行い、無作為抽出によるワークシoppやホットメールなど様々な手段で情報共有に努めており、今後もこの動きを充実させていきます。

まちづくりへの関心を高めるために最も重要なのは、現状を住民に知ってもらうこと、そして自分の声が村政に届くと実感してもらうことにあります。

社会への無関心はまちづくりに幅広くマイナスの影響を及ぼすものと危惧し、まちづくりへの住民参画の推進が投票率の向上に繋がると考えています。

投票率はその時々々の社会情勢や政治的課題等に伴う有権者の意識が反映されるもので、下落が続く要因としては、一番に政治への無関心、ひいては社会への無関心であると考えます。

移動支援や移動期日前投票所については、小規模自治体では立会人等の人員確保が厳しく、二重投票の対策も必要となることから、まずは既存制度の理解と利用の促進を優先したい。将来的に現制度だけでは投票が難しいとなった場合はこういったサービスがよいか検討したい。

移動支援や移動期日前投票所の交通サービスも利用しやすいため、積極的に活用していただきたい。郵便投票や不在者投票などの制度についても、より分かりやすい周知に努めます。

投票環境の向上の取組は。移動支援もしくは移動期日前投票所導入の考えは。期日前投票は平日や土曜日も開所しており、福祉移送サービスをはじめとした村の交通サービスも利用しやすいため、積極的に活用していただきたい。郵便投票や不在者投票などの制度についても、より分かりやすい周知に努めます。

年代別投票率の情報公開をする考えは。今回の統一地方選挙の結果から年代別・男女別の投票率を作成し、村HPや広報などで情報公開します。



皆さん、投票に行きましょう！

また学校で実施される生徒会選挙の際に、実際の選挙で用いる投票箱の貸出も行っており、選挙に興味や関心を持っていただきたいと思っています。大学生などで遠方にいる方は、マイナンバーカードを用いて投票用紙請求の電子申請ができる仕組みもあり、今後は投票制度を含め、住民周知に努めます。

若年層の投票率向上の方策は。中学3年生を対象とした模擬議会などの取組を通じて、学生のうちから意見の反映過程を実体験してもらう、そのような機会があることについて様々な広報媒体により家庭の方々も含めて政治に関心を持っていただければと思います。

若年層の投票率向上の方策は。中学3年生を対象とした模擬議会などの取組を通じて、学生のうちから意見の反映過程を実体験してもらう、そのような機会があることについて様々な広報媒体により家庭の方々も含めて政治に関心を持っていただければと思います。

北嶋議員

村長

拡大する被害について具体的な対策は

効果的な方法がないか研究・検証を重ねる



畑を集団で移動する鹿の群れ

問 鹿ソニック設置のほかに検討している対策がありますか。

答 鹿については鳥獣被害防止計画に基づき、駆除による個体数減を対策の柱と考えて、猟友会と連携して駆除を進めています。

問 これまで、鹿による農作物の被害については、予算審査、決算審査、一般質問等において、十数年言い続けてきました。中札内村の鹿による農業被害地域は、拡大し続けています。

村は、多面的機能支払対策による「電牧柵の設置」に対する支援・対策を講じ、令和5年度には「鹿ソニック設置」による実証を行うとされています。

答 過去5年間の鹿などによる農作物被害は、北海道に報告した平成29年度から令和3年度の過去5年間の農作物被害額は、少ない年度で1900万円、多い年度で2590万円で、ほとんどの被害は鹿によるものです。

これにより例年200頭前後の鹿の捕獲・駆除を行い、個体数が増加しないよう捕獲圧をかけています。

ただし、駆除は基本的にくり罠や銃器によるもので、平野部においては直接的な対策とはなりません。そのため、主な生息地である山間部で駆除を行い、個体数を減少させることで被害総体を減少させるとともに、平野部においては鹿ソニックや電気柵、爆竹などを使って、山間部に追い返す対策をしています。また、鹿が平野部に降りてくる際の走行ルートとなる防風林帯の下刈りを実施しています。

栄地区を中心に見られる鹿の集団営巣は、その生態から考えても特殊な例であることから、帯広畜産大学との共同研究の場を設け、その中で地域の課題として対策を研究できないか打診したいと考えています。

問 鹿以外の有害鳥獣に対して、検討している対策はありますか。

答 鳥獣被害防止計画において、キツネ・アライグマ・ヒグマおよび鳥類を対象とし、それぞれ箱罠および銃器による駆除を実施するほか、熊はくまドンによる追い払いの実証実験、キツネはエキノコックス駆除薬散布により人やペットへの感染被害を減少させるなど、他の地域に先んじた対策を講じています。

アライグマについても、箱罠の設置従事者の拡大に努めるなど、頭数の増加傾向に向けた対策を講じています。



試験的に鹿ソニックを設置している

鳥類被害については、鹿ソニックやくまドンを開発している業者から情報提供を受け、対鳥類音響設備を用いることでカラス等の被害を防げるのではないかと考え、今後の活用を検討しています。

いずれの対策も鹿同様、駆除による有害個体の減少を基本とし、捕獲以外の副次的な対策として、様々な可能性を検証していく考えです。

戸水議員

働きやすい環境を、そしてみずみずしい農産物を

村長

一次的に事業者が対応すべき

道の駅「なかさつない」の来場者は、70万人を超える人気スポットであり、お客様のリピート率も高い実績を維持されていると思っています。

これは指定管理者である観光協会、村が様々な集客アイデアを発案しイベント等を開催していることも要因であると考えており、取り組みに対して敬意を表するところです。



また、それぞれのテナントのご協力によるリピーターの数も計り知れないものであると推測します。

しかし、テナントの労働環境としては、厨房はとても狭く、火を使うこともあり夏場の高温時には熱中症という危険と隣り合わせの状況です。近年何人かが体調を崩されたということも聞いています。



多くの観光客で連日にぎわう道の駅「なかさつない」。新鮮な地場産野菜や地のものを使った加工品、各店舗、レストランなどが提供している食事が人気。

一部のテナントではエアコンが設置されているようですが、ほとんどのテナントにはエアコンが設置されておらず、厨房や作業場の夏場の労働環境としては劣悪な状況です。

また、店内売り場では毎朝農家が納品した農産物も特に葉菜類は常温によって午後には品質低下を招いています。

これらの状況を踏まえて、現在の状況を働きやすい環境、農産物の高品質を維持できるように改善すべきと考えます。

問 村として状況を把握されていますか。

改善するための対策を何か講じていますか。

答 指定管理者である観光協会から昨年、熱中症等により体調を崩された方がいたとの報告を受けています。しかしテナント会と村との定期的な協議の場において、熱中症等の夏場の暑さ対策への要望は寄せられておらず議論の俎上には上がっていません。このため村として具体策の検討はしていない現状です。

問 「物産販売所 花水山」「開拓記念館」は村の施設であり、村がエアコンを設置すべきと考えますが。

答 ご質問の通り花水山や開拓記念館は村の施設ですが、エアコンの設置など、そこで働く従業員等の労働環境の改善に係る措置については、一次的に事業者が行うべきものと考えています。

問 各テナントが独自にエアコンを設置する際に、設置費用の助成をする考えはありますか。

答 事業者が独自にエアコンを設置する場合の助成についてはですが、新たな顧客の確保やサービス向上を図る目的であれば「にぎわいつくり起業家等支援事業補助金」の対象でありご活用いただけます。ただ、村の考え方から厨房や従業員が使用するスペースへのエアコン設置は補助の対象外です。

今後、道の駅テナント会と十分な意見交換等を行いながら補助制度の必要性やあり方を研究してまいります。

宮部議員

村長

村独自の物価高騰対策 全世帯への支援策は

影響大きい世帯へ注力 全世帯への支援は難しい



高騰し続ける生活必需品

問 令和5年に入っても再値上げや、容量が減少される生活必需品も多く、円安傾向は続き燃料は高止まり、6月からは電気料金も20%程値上がりするなか、村としても現役世代も含め独自の生活支援をされる考えはないか伺います。

答 社会情勢の急激な変化に伴い厳しさを増した生活環境に対処するため、国や道による様々な支援策が展開されましたが、本村においては、困窮度や費用対効果を重視した各種対策を実施してきました。

基幹産業である農業に対する1億5千万円規模の支援をはじめ、経営が厳しさを増した運送業者に対しても支援金を給付しました。

また、住民の暮らしの安定化策としては、最も物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯への支援に注力することと

し、大学生にまで対象を広げた給付金支給などに取り組んできました。

我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などにより経済活動の正常化が進み、緩やかに回復の兆しを見せています。

一方で、原油価格等の高騰や新興国の経済発展に伴う資材等の争奪戦、円安による輸入物価の上昇、地球温暖化による干ばつ等の農業被害の影響を受け、エネルギーや食料品をはじめとする消費者物価

の上昇基調が続いています。

令和5年度にあっても食料等の物価高騰、電気料金の値上げが加わる現状を鑑み、国の「地方創生臨時交付金」を財源として確保できたことから、今年度の新たな独自策として、18歳未満のお子さんを養育する世帯ごとに3万円を給付します。また、前年度からの継続となりますが学校給食費を据え置く措置も実施しています。

賃上げを物価上昇が上回る厳しい状況が続いていますが、引き続き国内外の情勢を注視しながら、住民福祉の増進に寄与する村政運営に努めます。



ガソリン代も値上がりが続く(7月6日現在)

昨年より様々な生活必需品・燃料・ガス・電気料金等が値上がりし、生活費に占める支出が増加傾向にあります。

国、道なども非課税世帯や子育て世帯への支援策はされていますが、現役世代への支援策は見受けられません。

コロナも減少傾向のなか、今年のゴールデンウィーク時の旅行帰省動向を振り返りますと、「安・近・短」が主流との事で、コロナが完全に収まっていない事もあるかもしれませんが、物価高騰が影響しているとも言われています。

大手企業では賃上げ傾向ですが、地方の中小零細企業では実施したくても、できないのが現状ではないでしょうか。

大和田議員

本村にも防災専任職員の配置を

村長 関係機関とネットワークを強化し防災力を高める

問 令和3年12月に起きた暴風災害では、1千戸余りが厳冬の中で電気が使えなくなり、農業施設の破損や保安林の倒木など、経験したことのない災害が発生しましたが、その教訓はどの様に活かされていますか。



令和3年12月の暴風による倒木被害（村民体育館前）

答 地域の孤立を防ぐため、上札内交流館に大型非常用発電機と避難所立ち上げセットを配置しました。今年度は札内川左岸エリアの対策として、中島農業センターに発電機設置を予定しています。対策強化を図るため、部局間の情報共有、SNSを活用した住民への情報発信の強化、防災備品の作動試験等を実践しています。

問 災害時の第一避難場所は村民体育館となつていますが、ホームページや防災マップにはそのような記載はなく、多くの方は自宅から一番近い指定避難場所に避難すると考えています。住民に避難場所を明確に伝えるべきでは。

答 災害状況の多様化を踏まえ、村民体育館に限定せず臨機応変に開設する避難所を判断する必要性があります。今後、住民に広報等で情報を周知していきます。

問 年一度の防災訓練以外にも小規模の防災訓練を行い、職員はマニュアル通りの行動や避難所での支援活動など、村民と一体となつての訓練が大切と考えます。

地域防災力を高めるために、第一避難所である村民体育館でその様な防災訓練を実施すべきと考えますが、見解は。

答 今年度は新たに職員を対象に、災害時初動訓練を予定しており様々な施設で訓練を行っていく考えです。

また、行政区での防災推進活動に対して助成を設定し、消防職員からの講話など行政区内の防災力の強化を図ります。「情報宅配便」も活用していきたい。



役場の避難訓練の様子

問 以前、北海道から3年間防災担当職員が派遣されたが、現在は兼務での職員体制となっており、手薄になっていないかと思われる。

本村も地域の防災リーダーとして専任の担当者が必要であると考えますが。

答 十勝管内では、18町村のうち9町村が専任職員を配置している状況ですが、それぞれの部局の持つ経験知や人脈など総動員し、災害に臨まなければなりません。

本村においては役場がワンチームで災害対応に当たる姿勢が定着してきています。

また、専門的知見を持つ国や道などの関係機関や民間企業とネットワークを強化することで専門人材の補完を図り、防災力を高めていきます。

～物価高騰対策として臨時特別給付金を支給～ (住民税非課税世帯、子育て世帯が対象)

一般会計で9897万円、国民健康保険特別会計で38万円の追加補正、介護保険特別会計で31万円の減額補正がされました。

また、簡易水道事業会計では支出で46万円の追加補正、公共下水道事業会計では収入で1214万円、支出で1313万円の追加補正がされました。

補正内容と質疑の主なものを掲載します。

一般会計

歳出

●人件費補正

給与費について、4月1日付けの人事異動や昇格に伴う予算の組替え、扶養人数の変更などに伴う増減。

共済費については、共済組合等負担率が上がっているため追加している。

★木村議員

問 一般職員で3名減となつている。今後の採用計画は。

答 今年度の町村会の採用試験に本村も応募している。来年度に向け、3名分については採用する考え。

現段階で年度内の中途採用までは考えていない。

●地域おこし協力隊員関係 ・報酬(まちづくり推進費)

121万円

募集中のイベント企画運営等を行う地域おこし協力隊の7カ月分の報酬を追加しようとするもの。

・支援補助金(観光費) 38万円

令和6年4月から採用予定の日高山脈観光専門員の二次面接試験に係る交通費を助成しようとするもの。

★大和田議員

問 どのような内容で募集するのか。

答 まちづくり推進費の方では、イベントの事務局、企画運営等を担ってもらえるような人材を募集する。

観光費の方では、日高山脈のPR、国立公園化を見据えて、山岳センターをガイドできる方、あるいは的確に山岳情報等を発信、情報提供できるような方を募集する。



地域活性化に協力してくれる人材を募集

●コミュニティ活動費

・地域集会施設等補助金

593万円

・コミュニティ助成事業補助金

1080万円

興農区会館新築工事について、行政区に補助金を交付しようとするもの。

★戸水議員

問 この事業の補助金を活用して、どのぐらいの公会堂が建設されたのか。

答 今回の興農区を含めて5件目。平成29年度、30年度、31年度、令和3年度、令和5年度と短い期間で採択されている。

採択される条件として、行政区が地方自治法第260条の2に定める認可地縁団体になる必要がある。



補助金により興農区会館が新築される

●まちづくり推進費

・ふるさと納税クラウドファンディング補助金

164万円

4月12日から5月31日までの期間で実施したふるさと納税型クラウドファンディングについて、期間内に目標額を達成したことから、寄付金額の40%分の補助金を追加しようとするもの。

●児童支援費

・子育て世帯臨時特別給付金

1050万円

物価高騰への村単独の生活支援策として、子育て世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付しようとするもの。

・住民税非課税世帯等

臨時特別給付金

1650万円

国の施策として、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円を給付しようとするもの。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業費

1452万円

令和5年度の春夏接種の取扱い変更に伴う費用、秋冬接種に要する費用を追加しようとするもの。

令和5年6月定例会

●牧場管理費

●草地造成委託 597万円

農業者団体が行う草地難防除・雑草駆除技術実証事業が事業採択となったことから、必要な予算を追加しようとするもの。

★福原議員

問 今年度の事業面積と内容は。また、この事業を今後も継続していくことができるのか。

答 今年度は南札内基地の北側9haの草地更新を行いたい。

草地更新について、来年度からは道営事業実施予定である。道営事業実施期間中は、基本的には事業による草地更新という形になる。

●商工振興費

・にぎわいづくり起業家等

支援事業補助金

488万円

★宮部議員

問 申請件数と事業内容は。

答 4月以降に3件の申請があり、新規店舗が1件、新商品開発が1件、キッチンカー制作が1件である。

この他に、商工会に相談している方が3件、新規起業家が1件、既存店舗の改修が1件、新商品開発が1件となっている。補正予算には、商品開発の予備も含めて計上している。

●観光費

・やつぱり十勝Day

実行委員会負担金

50万円

エスコンフィールド北海道で十勝管内19市町村の宣伝イベントを実施する予定で、負担金を追加しようとするもの。

★船田議員

問 中札内村にどのような効果をもたらすものなのか。

答 今年8月4日に、十勝全体をPRするもので、各市町村が物販販売や観光イベントのパンフレット等を配布する。



エスコンフィールドで村PR

公共下水道事業会計

歳出

●資本的支出

●工事請負費

1300万円

ときわ野第4分譲地東側敷地に宅地分譲を行うため、下水道本管を新設しようとするもの。

第2回臨時会

7月11日(火)開会
会期 1日

審議案件

承認1件(承認)
議案2件(原案可決)

一般会計補正予算 専決処分の承認

●上札内小学校エアコン設置工事

532万円

上札内小学校エアコン設置工事において、電気設備工事の工法を変更する必要があることから、必要となる費用を地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの。

工事請負契約の締結

●中札内村小・中学校照明

LED化工事
8208万円

令和6年3月29日までの工期で、有限会社双栄電気工業と工事請負契約することを可決しました。



★船田議員

問 校舎外のLED化はどのようなになっているのか。

また、LED化による事業効果は。校舎外は随時LEDに更新していく。事業効果は、4割ぐらゐの電気料削減が見込まれる。

★宮部議員

問 照明器具から交換するのか。

答 器具ごと交換する必要がある箇所のみ交換する。
電球交換で済む箇所は切れた際随時交換していく。

補正予算

歳出

●財産管理費

915万円

ときわ野分譲地造成等に係る費用を追加しようとするもの。

★戸水議員

問 分譲する時期と坪単価はどのぐらいを想定しているのか。

また、その他に分譲を考えている箇所はあるのか。

答 11月ぐらいの分譲を考えている。坪単価は2万円前後を想定している。

また、具体的に分譲を考えている箇所はない。今後、遊休地の土地利用を含めて考えていきたい。

議員研修会・視察調査

北海道町村議会議長会

議員研修会

○7月4日(火)

◆札幌市コンベンションセンター

兵庫県立大学理事長の五百旗頭（いおきべ）真氏から「ウクライナ危機後の世界と日本」と題し、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う今後の中国の動き、日本の今後の外交・安全保障などについての講演を拝聴しました。

また、政治ジャーナリストの田崎史郎氏からは「日本政治の舞台裏」と題し、日々の政治家との付き合い方、首相の政治手法などについての講演を拝聴しました。



視察

○7月5日(水)

◆札幌市民防災センター

◆ホクレン「くるるの杜」

令和5年4月にリニューアルされた札幌市民防災センターを視察し、暴風体験や災害バーチャル体験などを全員で体験しました。市民や修学旅行生など多くの方が来館されていました。

その後、北広島市内のホクレン「くるるの杜」に移動し、施設内の農村レストランで道産食材をふんだんに使用した昼食をいただきました。農村レストランは平日ながらも多くの人で賑わっており、農畜産物直売所では道内で生産された新鮮な野菜や果物を多くの方が買い求めていました。



議会広報モニター任命式

6月26日に議会広報モニター任命式を開催し、議長から委嘱状を交付しました。モニターの役割などについて説明を行った後、今後の議会だより作成について、意見交換を行いました。

氏 名	行政区
石 橋 尚 晃	興 農 区
歌 野 毅	元 大 正
久 保 綾 子	3 区
佐々木 順 子	ひばりヶ丘
神 こずえ	3 区
寺 井 香 奈	めぐみ区
長谷川 あゆみ	興 農 区
松 原 康 時	上 札 内

(五十音順・敬称略)

次の定例会は9月です！

日程が決まりましたら情報無線等でお知らせします。

議会中継はYouTubeで配信しています。

「中札内村議会」で検索できます。また、下記のQRコードからもアクセスできます。



編集後記

近年、国内の労働者不足問題が顕在化してきている。外国人に頼る事例も少なくなはない。

村内においても、JA中札内村ではベトナム、インドネシア人24名、中札内若どりではベトナム人30名を雇用している。他の企業も今後増えてくる可能性もある。35年前のアメリカ農業では多くのメキシコ人に頼る現実を見てきた。世界に誇るアメリカ農業は、実はメキシコ人が支えている。私の居た農場も同じだった。

ボスが朝のミーティングで一日の仕事内容を指示。その後ゴルフなどの趣味に出かける。私とメキシコ、カンボジア人20名くらいで一日の仕事をこなす。ほぼ毎日。どこの農場も同じだ。

当時、なんてアメリカ人は道楽なんだろうと思った。日本では考えられない。国民性なのか、日本人はよく働く。だから現在まで自国民だけでやってこれた。しかし今後はそうはいかなくなるだろう。人口減少や少子化問題、様々な課題が国内の労働者不足に影響し、外国人労働者が普通に見かけられる将来が来るだろう。致し方ないが、日本の農業や企業が外国人によって支えられているとは思われたくない気持ちもある。プライドなのか。

(戸水 隆)